

食と栄養の専門家 育成の強化で協定

名古屋女子大と瑞陵高



調印式に参加した越原学長(左)と鶴田校長(右)名古屋女子大と瑞陵高

食や栄養の専門家の育成強化を目指す、名古屋女子大(名古屋市瑞穂区)と瑞陵高(同区)は2日、連携協定を結んだ。両校とも、大学と高校間で協定を結ぶのは初めて。瑞陵高には県内で唯一、

とを想定している。研究に役立つ資料がそろったという同大の図書館も開放する。同大であった調印式では、越原もゆる学長と瑞陵高の鶴田昭博校長が協定書に調印。越原学長は「本学の栄養分野の実績を地域の学校教育に生かせることをうれしく思う」と話し、鶴田校長は「高校にはない資料などが、生徒たちのより良い学びにつながれば」と願った。(古畑克真)